

《研究ノート》

19世紀ザクセンの土地制度 (5)

松 尾 展 成
(岡山大学名誉教授)

第2節 19世紀農村の階層構造 (続き)

所有地面積. 第28表⁽³⁸⁾は、82年と07年の階層別所有地面積を示す。本表は第1行に、各階層の所有地面積(単位ha)と王国・県・郡計を、それぞれの面積の右に、所有地面積王国・県・郡計に占める各階層所有地面積の比率、(%)を、所有地面積王国・県・郡計の比率(100%)の右に、上記所有地面積比率の①-③大階層別合計を、第2行に、各階層の経営総面積に占める所有地面積の比率、(%)を、その右に、総面積王国計に占める各階層所有地面積の比率、[王国と県は%, 郡は%]を、王国・県・郡の同比率合計の右に、王国総面積に占める、①-③大階層別所有地面積比率の合計、[王国と県は%, 郡は%]を、最右端に、③に対する②と①の比率を示す。%と‰は省略した。

所有地面積は95年と07年の調査では公表されたが、82年には公表されなかった。以下では、82年の所有地面積⁽³⁹⁾を、経営総面積から借入地を差し引いた面積と見なして、検討する。

第28-1表によれば、王国に関して82年から07年までに所有地面積計とA-Gの7階層の所有地面積は増加した。B層、特にA層、のその増加が顕著であった。H層の所有地面積だけが減少した。所有地面積王国計に占める各階層所有地の比率を見ると、B-DとGの4階層の同比率は変化せず、他の4階層のうち、A層の比率は3pt上昇し、E層とF層の比率は1pt、H層は2pt、低下した。両年ともにE層の比率は最も高く(約3割)、F層がそれに次ぎ、やや離れたD層(14%)が第3位であった。82年に第4位はH層、第5位はC層であったが、07年には、H層の比率が低下したため、H層とC層は同率(約1割)となった。82年に第6位はG層、第7位はB層、第8位はA層であったけれども、07年には、A層の比率が上昇したために、G層とA層は同率(5%)となり、B層が第8位(3%)となった。①-③の3大階層で同比率の変化を見ると、②は3pt上昇し、①と③は2pt低下した。そのために、①よりも低かった②は、07年には①よりも高くなった。③は、その比率が低下したとしても、全体の7割近くを占めていた。③に対する比率は、②が上昇し(③の20%から25%へ)、①が低下した(23%から21%へ)。③に対して、②はより大きく、①はより小さくなった。

所有地面積が経営総面積に占める比率を所有地率と呼ぶとすれば、所有地面積王国計の所有地率は、四半世紀に1pt低下して、87%となった。階層別の比率の変化では、A層とB層の所有地率が上昇し、C-Hの6階層が低下した。大きな変化のみを見ると、D層が4pt、F層とH層が3pt、低下し、B層が5pt、特にA層が17pt、上昇した。所有地率はA-Gの7階層で高く、8割以上に上っていた(82年のA層66%とB層79%を除く)。特にD、EとFの3階層の同比率は8階層の中で最も高かった(低下した07年にも、90-94%)。すなわち、これら3階層の経営総面積は大部分(9割以上)が所有地であった。H層の所有地率は8階層中、最も低かった上に、63%から60%に低下した。H層では、借入地面積はほぼ同じであったが、同層の総面積と所有地面積が減少したために、借入地率は上昇し⁽⁴⁰⁾、所有地率は低下した。すなわち、H層で総面積と所有地面積の乖離が拡大した。

第28-1表に示される4県では、どうであったか。所有地面積県計はL県のみで減少し、3県で増加した。階層別では、A層とB層の所有地面積は全4県で増加した。特にD県、Z県とB県のA層は3倍近くに激増した。他の階層で増加した県と階層は、(1) C層でD県、L県とZ県、(2) D層でD県、Z県とB県、(3) E層でD県とZ県、(4) F層でZ県とB県、(5) G層でZ県とB県、(6) H層でD県、であった。それに対して、(1) B県のC層、(2) L県のD層、(3) L県とB県のE層、(4) D県とL県のF層、(5) D県とL県のG層、および、(6) L県、Z県とB県のH層、の所有地面積は減少した。

所有地面積県計に占める各階層の比率の変化を、大きな変動のみで見ると、A層がD県とZ県で3pt、B県で4pt、上昇し、F層がD県で3pt、H層がB県で4pt、低下した。所有地面積県計に占める比率が兩年ともに1割以上の階層は、(1) Z県とB県のC層、(2) 全4県のD層、E層とF層、および、(3) L県とB県のH層であった。その中で、07年を取ると、全4県のE層とF層の比率は2割を超え、特にZ県のE層とL県のF層は3割を超えていた。構成比が最も高い階層は、L県でF層、Z県とB県でE層で、D県ではE層とF層が同率であった。第2位は、L県でE層、Z県とB県でF層、第3位はL県でH層、3県でD層、第4位はL県でD層、Z県でC層で、D県とB県でC層とH層が同率、第5位はL県でG層、Z県でH層、第6位はD県とZ県でG層、L県でC層、B県でA層、第7位はD県でA層、L県とZ県でB層で、B県でB層とG層が同率、第8位はD県でB層、L県とZ県でA層、であった。下位の諸階層、全4県のA層、B層とG層、D県とL県のC層、および、D県とZ県のH層の構成比は2-9%であった。なお、H層の比率が最も高いL県とB県(12-16%)は、最も低いZ県の比率(6-8%)の2倍であった。

所有地面積の構成比を①-③の3大階層で見ると、②は全4県で上昇し、③はB県で同率で、3県で低下し、①はB県で低下し、3県で同率であった。②の比率が最も低い県は、82年のL県で所有地面積県計の9%、最も高い県は07年のB県で24%(L県の上記比率の2.7倍)であった。③はB県で所有地面積の6割、3県で約7割を占めていた。③の最も低い比率は兩年のB県の60%で、最も高い比率は82年のZ県の73%(B県の上記比率の1.2倍)であった。①の比率が最も低い県は、82年と07年のZ県(10%)で、最も高い県は82年のB県(21%、Z県の上記比率の2.1倍)であった。①-③の格差は③で最も小さく、①でやや大きく、②で最も大きかった。

所有地面積県計の所有地率はD県で同率で、3県で2-3pt低下した。県全体の所有地率は07年のL県で最も低く(82%)、82年のZ県で最も高かった(93%)。8階層の中ではA層の同比率は全4県で著しく上昇した。特にL県のA層の同比率は最大の36pt、第2位のB県は20pt、Z県は17pt、最小のD県でも16pt、の上昇を示した。B層も全4県で上昇した(最大のB県で8pt、最小のL県で1pt)。それに対して、他の6階層の同比率は、D県のH層の9ptとZ県のH層の1ptの上昇を除いて、低下した(一部は同率)。特に(1) D層はD県とL県で4pt、(2) G層はB県で4pt、(3) H層はB県で7pt、低下した。D、EとFの3階層の所有地率は8階層の中で最も高かった(低下した07年にも、88-98%)。すなわち、4県のこれら3階層の総面積は大部分が所有地であった。H層の所有地率は8階層の中で最も低かった。それが最も低い県は、L県で、82年の54%(D県と同率)から07年の52%に低下し、B県の同比率も71%から64%に低下した。すなわち、L県とB県のH層で総面積と所有地面積の乖離が進展した。反対に、Z県はH層の所有地率が最も高く、同比率は82年の71%(B県と同率)から07年の72%に僅かに上昇し、D県の同比率も54%から63%に上昇した。すなわち、この2県のH層では総面積と所有地面積の乖離が縮小した。

総面積王国計に占める所有地面積県計の比率は、L県で2pt低下し、Z県で1pt上昇し、2県はほぼ同率であった。D県とZ県の所有地面積は王国所有地面積の約25%、L県20%、B県が最も小さく、約15%であった。各階層が総面積王国計に占める比率の変動は1pt以下であった。所有地面積が総面積王国計の5%以上を占める階層は、その比率がいくらか低下したとしても、兩年のD県、L県とZ県のE層とF層であり(82

年のZ県F層を除く)、両年のZ県D層と82年のZ県F層もそれに近かった(Z県のF層の比率は上昇した)。特にZ県のE層は全階層の中で最も高く、両年ともに総面積王国計の9%を超えていた。4県のA, B, C, G, Hの5階層、および、D県、L県とB県のD層の比率は、3%以下であった(4県のA層とB層の比率は、多くの場合に1%以下であった)。H層の比率は、L県で最も高かったが、07年には、D県のみ僅かに上昇し(0.1pt)、3県で低下した(Z県0.7pt, B県0.6pt, L県0.3pt)。

総面積王国計に占める比率を、①-③の3大階層で見ると、全4県で、②は上昇し、①は低下し、③はZ県で上昇し、3県で低下したけれども、比率の変動は大きくなかった(最大でL県③の1.9pt)。②が最も高い県は両年ともにZ県であった(両年ともに、最も低い、L県の②の比率の約2倍)が、Z県の②は、それが上昇した07年にも、王国総面積の5%を占めたに過ぎない。Z県の③は両年ともに最も高く、王国総面積の2割近くを占め(両年ともに、最も低いB県の③の2倍以上)、D県の③もZ県に近かった。両年ともに、Z県の①は最も低く(07年にはB県と同率)、L県の①は最も高く(Z県の約1.6倍)、82年に4.4%、07年に3.9%で、王国の同比率、82年の16%、07年の14%の中で約28%を占めていた。

③に対する①と②の比率を見ると、②の比率は全4県で上昇した。上昇率はL県で2pt、Z県で5pt、B県で8pt、D県で9pt、であった。②の同比率が全4県で上昇した07年に、②は、Z県とD県で③の25%を超え、B県では4割を超えていたのに対して、同比率が最も低い、L県の②は③の15%(同比率が最も高いB県の4割以下)に過ぎなかった。③に対する①の比率は、D県で上昇し、Z県とB県で低下し、L県は同率であった。①の比率の変化はD県とZ県で大きくなかったが、B県では5ptも低下した。その結果として、(1) D県とB県の②は①よりも低かったけれども、①よりも高くなり、特にB県の②は遥かに高くなった。(2) Z県の②は、①よりも高かったが、さらに高くなり、①の2倍となった。(3) L県の①は②の2.2倍から、1.9倍に低下した。③に対する①の比率において、07年に比率第1位はB県で、第2位のL県はB県よりもやや低かったが、両県は第4位のZ県のそれぞれの2倍以上であった。

第28-2表で26郡における所有地面積の変化を見ると、所有地面積郡計はDre, Bor, Döb, Leip, Osc, Che, PlaとLöbの8郡で減少し、Roc郡はほぼ同じで、D県5郡、Z県8郡とB県3郡を含む17郡で、増加した。8階層の変化は極めて複雑であった。A層の所有地面積はLeip郡とAue郡でのみ減少し、24郡で増加した。特にPir, Che, Schw, ZwiとKamの5郡で3倍に、Mar郡で4倍に増加し、Dip, AnnとZitの3郡で5倍に、Fre郡で6倍に激増した。B層の所有地はDip, Pir, Gri, Leip, Roc, Mar, Schw, BauとKamの9郡で増加し(特にPir郡で3倍、Mar郡で4倍)、Mei, Bor, AueとLöbの4郡でほぼ同じで、Z県7郡を含む13郡で、減少した。C層の所有地はDre, Bor, Leip, Roc, Aue, Che, Gla, Zwi, Bau, LöbとZitの11郡(B県3郡を含む)で減少し、D県5郡を含む15郡で、増加した。D層の所有地はDre, Bor, Gri, Leip, Osc, Oel, PlaとLöbの8郡(L県4郡を含む)で減少し、Roc郡でほぼ同じで、D県5郡、Z県8郡とB県3郡を含む17郡で、増加した。E層の所有地はDip, Fre, Leip, Ann, Aue, Flö, Mar, Oel, SchwとZitの10郡(Z県6郡を含む)で増加し、Osc, GlaとZwiの3郡でほぼ同じで、D県4郡、L県4郡とB県3郡を含む13郡で、減少した。F層の所有地はDip, Dre, Gron, Mei, Döb, Gri, Leip, Osc, Che, Flö, GlaとZitの12郡(D県4郡とL県4郡を含む)で減少し、Z県7郡とB県3郡を含む14郡で、増加した(特にSchw郡で4倍に)。G層の所有地はDip, Dre, Gron, Bor, Döb, Flö, Gla, Oel, PlaとKamの10郡で増加し、特にPla郡で5倍に、Gla郡で8倍に激増したが、L県4郡とB県3郡を含む16郡で、減少した。H層の所有地はDip, Dre, Gron, Pir, GriとAueの6郡(D県4郡を含む)で増加した。特にDip郡は1.4倍に、Gri郡は1.5倍に、Pir郡は1.6倍に、Aue郡は1.7倍に増加したけれども、Döb, RocとAnnの3郡はほぼ同じで、B県全4郡とZ県8郡を含む17郡で、減少した。

所有地面積郡計に占める各階層の比率も、極めて複雑に変化した。5pt以上の変動のみを挙げると、比

第28-1表 階層別所有地面積（王国と4県，1882-1907年）

	A		B		C		D		E		F	
D県-82	6,121 (70)	(2) [0.5]	7,579 (80)	(3) [0.6]	25,199 (86)	(8) [2.1]	34,621 (93)	(12) [2.9]	86,448 (97)	(29) [7.3]	92,485 (98)	(31) [7.8]
D県-07	17,131 (86)	(5) [1.3]	11,421 (85)	(3) [0.9]	30,896 (84)	(9) [2.4]	38,217 (89)	(12) [2.9]	91,706 (96)	(28) [7.1]	90,455 (96)	(28) [7.0]
L県-82	4,580 (34)	(2) [0.4]	4,204 (77)	(2) [1.4]	13,778 (85)	(5) [1.2]	28,477 (92)	(11) [2.4]	71,493 (96)	(27) [6.0]	88,039 (97)	(34) [7.4]
L県-07	7,050 (70)	(83) [0.5]	4,521 (78)	(2) [0.4]	15,503 (85)	(6) [1.2]	25,868 (88)	(10) [2.0]	69,687 (94)	(27) [5.4]	83,172 (95)	(32) [6.5]
Z県-82	6,868 (73)	(2) [0.6]	8,716 (81)	(3) [0.7]	32,523 (89)	(11) [2.7]	56,599 (95)	(18) [4.8]	112,642 (98)	(37) [9.5]	56,457 (95)	(18) [4.8]
Z県-07	18,286 (90)	(85) [1.4]	10,696 (85)	(3) [0.8]	35,978 (87)	(10) [2.8]	60,275 (92)	(17) [4.7]	122,233 (96)	(35) [9.5]	68,697 (93)	(20) [5.3]
B県-82	4,679 (60)	(3) [0.4]	6,552 (76)	(4) [0.6]	23,667 (86)	(13) [2.0]	24,772 (92)	(14) [2.1]	43,983 (97)	(25) [3.7]	38,459 (96)	(21) [3.2]
B県-07	12,453 (80)	(7) [1.0]	8,513 (84)	(5) [0.7]	23,264 (84)	(12) [1.8]	29,016 (90)	(15) [2.2]	42,566 (95)	(23) [3.3]	40,516 (93)	(22) [3.1]
王国-82	22,276 (66)	(2)	27,051 (79)	(3)	95,168 (87)	(9)	144,469 (94)	(14)	314,566 (97)	(30)	275,440 (97)	(26)
王国-07	54,620 (83)	(5)	35,151 (84)	(3)	105,641 (85)	(9)	153,376 (90)	(14)	326,192 (95)	(29)	282,840 (94)	(25)

率が上昇した階層と郡は、A層でDipとKamの2郡（5 pt，以下ではptを省略）、FreとMarの2郡（6）、Ann郡（7）とZit郡（13）、B層でPir郡（5）とMar郡（7）、E層でLeip郡（6）とFlö郡（7）、F層でFlö郡（5）、Oel郡（6）とSchw郡（18）、G層でPla郡（7）とGla郡（8）、H層でAue郡（5）とGri郡（6）、であった。比率が低下した階層と郡は、D層でOel郡（5 pt，以下同じ）とSchw郡（9）、E層でAnn郡（5）、Schw郡（7）とPir郡（8）、F層でDipとZitの2郡（7）、H層でOel郡（6）とPla郡（7）、であった。C層とD層には、比率が大きく上昇した郡はなく、A、B、CとGの4階層には、比率が大きく低下した郡はなかった。

8階層の中でA層には、その比率が所有地面積郡計の1割を超える郡はなかった。A層が両年ともに3%以下の郡は、Gron、Mei、Bor、Döb、Gri、Leip、Osc、Flö、PlaとBauの10郡であった。

B層の比率が郡計の1割を超える郡はなかった。B層が両年ともに3%以下の郡は、Fre、Gron、Mei、Bor、Döb、Gri、Leip、Osc、Roc、Che、Flö、Gla、Pla、ZwiとZitの15郡であった。したがって、L県5郡を含む上記10郡ではA層の、L県全6郡を含む上記15郡ではB層の、比率が3%以下であり、ここでは両階層が弱体であった。

C層が郡計の1割以上を占める郡は、Fre、Ann、Aue、Mar、Oel、Schw、Bau、KamとLöbの9郡（以上は両年とも）、および、Dre、Mei、PirとGlaの4郡（82年のみ）、計13郡であった。C層には、2割を超える郡はなかった。C層が両年ともに7%以下の郡は、Gron、Bor、Gri、Leip、Osc、Roc、FlöとPlaの8郡であった。したがって、Z県6郡を含む上記13郡では、C層が比較的に有力で、L県5郡を含む上記8郡では、C層が弱体であった。

D層が1割以上を占める郡は、Mei、LeipとOscの3郡を除く23郡（21郡は両年ともに、Gri郡は82年のみ、Zit郡は07年のみ）であった。このうち、両年のAue、OelとZwiの3郡、および、82年のAnnとSchwの2郡、計5郡のD層は2割を超えていた。D層が両年ともに1割以下の郡は、Mei、LeipとOscの3郡であったが、その比率は7-9%で、1割に近かった。したがって、ほぼ全ての郡でD層は郡計の1割以上を、Z県の上記5郡は2割以上を、占めて、有力であった。

E層が1割以上を占める郡は、全26郡（両年とも）であった。そのうち、両年のRoc、CheとZwiの3郡は4割を、両年のDip、Dre、Bor、Flö、Gla、Mar、PlaとKamの8郡は3割を、両年のFre、Döb、GriとOscの4郡は2割を、82年のAnn郡は4割を、82年のGron、Pir、AueとSchwの4郡は3割を、82年のOel、

G	H	計	②	③	①	②	③	①	計	対③比率	
										②	①
18,856 (6) <88> [1.6]	25,761 (9) <54> [2.2]	297,070 (100) <88> [25.1]	13	72	15	3.2	18.0	3.8	25.1	18	21
18,407 (6) <86> [1.4]	29,185 (9) <63> [2.3]	327,418 (100) <88> [25.4]	17	68	15	4.6	17.0	3.7	25.3	27	22
17,546 (7) <81> [1.5]	34,034 (13) <54> [2.9]	262,181 (100) <85> [22.1]	9	72	20	2.0	15.8	4.4	22.1	13	28
17,273 (7) <79> [1.3]	33,536 (13) <52> [2.6]	256,610 (100) <82> [20.0]	11	69	20	2.1	13.9	3.9	20.0	15	28
7,421 (2) <82> [0.6]	25,617 (8) <71> [2.2]	306,844 (100) <93> [25.9]	16	73	10	4.0	19.1	2.8	25.9	21	15
12,458 (4) <85> [1.0]	19,009 (6) <72> [1.5]	347,332 (100) <91> [27.0]	17	72	10	5.0	19.5	2.5	27.0	26	12
8,832 (5) <79> [0.7]	28,028 (16) <71> [2.4]	178,971 (100) <87> [15.1]	20	60	21	3.0	9.0	3.1	15.1	33	34
9,228 (5) <75> [0.7]	22,687 (12) <64> [1.8]	188,243 (100) <85> [14.6]	24	60	17	3.5	8.6	2.5	14.6	41	29
52,655 (5) <83>	113,440 (11) <63>	1,045,066 (100) <88> [88]	14	70	16	14	70	16	100	20	23
57,366 (5) <82>	104,417 (9) <60>	1,119,603 (100) <87> [87]	17	68	14	17	68	14	100	25	21

BauとLöbの3郡は2割を、07年のAnnとOelの2郡は3割を、07年のGron, Pir, Leip, AueとSchwの5郡は2割を、超えていた。E層が1割以下の郡はなかった。E層が2割以上の計30郡はL県全6郡、Z県全10郡、D県5郡とB県3郡であった。E層は、MeiとZitの2郡を除く24郡で、2割以上の比率を占め、有力であった。

F層が1割以上を占める郡は、全26郡(両年とも)であった。ただし、Oel郡は07年のみ1割以上であり、82年には6%で、1割以下の唯一の郡であった。26郡のうち、(1)82年のMeiとZitの2郡は4割を超えていた。3割を超える郡は、(2)両年のGron, Bor, Döb, Gri, Leip, OscとZitの7郡(L県5郡を含む)、(3)82年のDipとFlöの2郡(他に4割超の上記MeiとZit)、(4)07年のFre, Mei, Roc, SchwとZitの5郡であった。2割を超える郡は、(5)82年のDre, Fre, RocとMarの4郡、(6)07年のDipとFlöの2郡であった。特に、D県全6郡とL県全6郡を含む16郡は、F層が2割以上で、有力であった。

G層が1割以上を占める郡は、Mei, LeipとOscの3郡(両年とも)、07年のみのDöb郡、計4郡であった。ここではG層がかなり有力であった。G層には、2割を超える郡はなかった。G層の比率が両年ともに5%以下の郡は、Dip, Bor, Gri, Roc, Ann, Aue, Che, Mar, Oel, Schw, Zwi, BauとZitの13郡であった。Z県7郡を含む上記13郡では、G層が弱体であった。

H層が1割以上を占める郡は、Fre, Gron, Bor, Döb, Gri, Leip, Osc, Aue, Pla, Bau, Löbの11郡であった。このうち、両年のLeip郡は2割を、82年のPla, BauとLöbの3郡、および、07年のGri郡は2割を、超えていた。H層が両年ともに5%以下の郡はDip, Roc, Ann, Che, Gla, Mar, SchwとZwiの8郡であった。したがって、H層は、L県5郡を含む上記11郡で、有力で、Z県6郡を含む上記8郡で、弱体であった。

以上から、全26郡のE層とF層は両年ともに所有地面積郡計の1割以上を占めていた(82年のOel郡のF層を除く)。このうち、E層の4郡は4割を、他の14郡は3割を、他の12郡は2割を超えていた(比率だけで郡の数をまとめ、82年のみあるいは07年のみを含むために、郡の合計は26を超える)。F層の2郡は4割を、他の13郡は3割を、他の10郡は2割を、超えていた。比率が3割を超える郡は、E層とF層だけにあった。比率がE層とF層の次に高い階層はD層で、両年ともに21郡が、1年のみ2郡が、1割を超えており、21郡の中の5郡は2割を超えていた。H層では11郡が1割を超えていたが、その中でGri, Leip, Pla, BauとLöbの5郡は2割を超えており、特に、両年ともに2割を超えるLeip郡が際立っていた。

所有地郡計に占める比率を、①-③の3大階層にまとめると、②は、DreとAueの2郡を除いて、上昇

した（一部は同率）。②の比率が所有地郡計の2割以上の郡は、両年のOel, Schw, BauとLöbの4郡、および、82年のみのAue郡、さらに、07年のみのFre, Pir, Ann, Mar, KamとZitの6郡、計11郡であった。B県全4郡を含む、これらの11郡では、②が相当の地位を占めていた。②が10以下の郡は、両年のBor, Leip, OscとFlöの4郡、および、82年のみのGron, GriとPlaの3郡、計7郡であった。L県4郡を含む、これらの7郡では、②の地位が極めて低かった。②の比率の最低は両年のLeip郡の6で、比率の最高は07年Mar郡の32（最低のLeip郡の比率の5.3倍）であった。③は、Leip, Osc, Oel, Schw, Zwi, BauとLöbの7郡を除いて、低下した（一部は同率）。D県全6郡とZ県7郡を含む19郡では、同比率が低下した。③が65以下の郡は、両年のLeip, Aue, Oel, BauとLöbの5郡、および、07年のみのFre, Mei, Pir, GriとZitの5郡、計10郡であった。B県3郡を含む、これらの10郡では、③が比較的弱体であった。③が75以上の郡は、両年のDip, Bor, Roc, FlöとZwiの5郡、82年のみのAnn, Che, GlaとMarの4郡、および、07年のみのPir郡、計10郡であった。Z県の6郡を含む、これらの10郡では、③が有力であった。残る6郡では、③は両年ともに65-75であった。③の最低比率は82年のBau郡とLöb郡の53で、最高は82年Roc郡の84（両郡の最低比率の1.6倍）であった。①は、Dip, Dre, Gron, Döb, Gri, Roc, AueとGlaの8郡を除いて、低下した。B県全4郡とZ県8郡を含む18郡では、同比率が低下した。①が10以下の郡は、両年のDip, Roc, Ann, Che, Mar, SchwとZwiの7郡、82年のみのDreとGlaの2郡、および、07年のみのFlö郡、計10郡であった。Z県の7郡を含む、これらの10郡では、①が劣勢であった。①が20以上の郡は、両年のMei, Gri, Leip, Osc, Pla, BauとLöbの7郡、82年のみのFre郡、および、07年のみのGronとDöbの2郡、計10郡であった。L県の4郡を含む、これらの10郡では、①が優勢であった。残りの6郡は、①の比率が10-20であった。①の最低比率は07年のSchw郡の1.3で、最高は82年のLeip郡の33（最低のSchw郡の比率の25倍）であった。

以上から、最高比率と最低比率の格差は、③で小さく、②でやや大きく、①で極めて大きかった。

26郡の所有地率の変化を見ると、郡全体で所有地率はFre, Gron, MarとPlaの4郡で同率で、Ann (1pt), Dip, Pir, Schw (以上2pt) とGri (3pt, 以下ではptを省略) の5郡で上昇し、17郡で低下した。すなわち、Mei, Roc, Gla, Oel, BauとKamの6郡 (以上1), Döb, ZwiとZitの3郡 (以上2), Osc, Che, FlöとLöbの4郡 (以上3), Bor郡 (4), DreとAueの2郡 (以上6), および、Leip郡 (12), であった。郡全体の所有地率が最も高い郡は82年のOel郡と07年Ann郡 (95%) で、所有地率が9割以上の郡は両年のDip, Fre, Roc, Ann, Che, Flö, Gla, Mar, Oel, PlaとSchwの11郡、および、82年のみのDöb, AueとZwiの3郡であった。これらの14郡では、そして、14郡の中に全10郡が含まれているZ県では、総面積の9割以上が所有地であった。所有地率が最も低い郡は、07年のLeip郡 (65%) であった。所有地率が85%以下の郡は両年のBor, Gri, Leip, Osc, BauとZitの6郡、および、07年のみのDreとLöbの2郡、計8郡 (L県の4郡とB県の3郡を含む) であった。

A層の比率はDre, LeipとAueの3郡のみで低下したが、低下率は小さく、3pt以下であった。それに対して、23郡で同比率は上昇した。上昇率が大きい郡を見ると、Pla (10pt), Schw (15), Ann (16), Kam (17), Roc, CheとZit (以上18), PirとMar (以上19), Dip (21), Zwi (23), Gla (24), および、Fre郡 (34) であった。A層の所有地率が最も高い郡は、96%のAnn郡で、9割以上の郡は、90%のOel郡, 91%のDip, Fre, PirとSchwの4郡, 92%のChe郡, 93%のMar郡, 95%のZit郡および96%のAnn郡, 計9郡 (以上は全て07年) であった (なお、82年には、Aue郡の83%がA層の最高比率で、9割以上の郡はなかった)。A層の所有地率が最も低い郡は51%のBor郡 (82年) で、6割以下の郡は、60%のDöb郡, 58%のOsc郡, 57%のFre郡, 53%のBau郡と51%のBor郡 (以上82年), および、59%のBau郡, 58%のLeip郡と56%のBor郡 (以上07年), 計6郡であった。残る11郡のA層の所有地率は両年ともに61-89%であった。

B層の所有地率はChe郡で同率で、Dip, Pir, Bor, Gri, Roc, Flö, Mar, Schw, Zwi, Bau, KamとLöb

の12郡で上昇した。上昇率が大きい郡は、Pir (9), Dip (12), および、MarとBau郡(以上13)であった。それに対して、同比率は13郡で低下した。低下率が大きい郡はDre (9), Zit (15)とFlö郡(25)であった。B層の所有地率最高はPir郡とMar郡の93%(ともに07年)で、9割以上の郡は、Oel郡90%とAue郡92%(以上82年), および、Schw郡91%, Pir郡とMar郡93%(以上07年), 計5郡であった。同比率最低は07年Flö郡の49%で、7割以下の郡は、Fre郡とLeip郡70%(以上82年), および、Gla郡70%, Leip郡68%, Zit郡67%, Fre郡66%とFlö郡49%(以上07年), 計5郡であった。残る16郡(L県5郡とB県3郡を含む)のB層の所有地率は両年ともに71-89%であった。

C層の所有地率はFre, Pir, BorとSchwの4郡で同率で、Gri, OscとAnnの3郡のみで上昇した。上昇率最大はGri郡の5ptであった。同比率は19郡で低下した。低下率が大きい郡はDip, CheとZwi(以上5), DreとLeip(以上9)およびZit(12)郡であった。C層の所有地率最低は07年Leip郡の63%で、75%以下の郡は、82年のLeip郡74%, および、07年のZit郡71%とLeip郡63%のみであった(計2郡)。C層で同比率最高は82年Oel郡の95%で、9割以上の郡はAnn郡90%, Dre郡91%, MeiとDöb郡(以上92%), Aue郡93%とOel郡95%(以上82年)の6郡, および、DöbとAue郡(以上90%), MeiとAnn郡(以上91%), Oel郡93%(以上07年)の5郡, 計6郡であった。D県4郡, L県4郡, Z県7郡とB県3郡を含む16郡で、C層の所有地率は両年ともに75-89%であった。

D層の所有地率は全26郡で低下した。低下率が大きい郡はGri, MarとPla(以上5), GlaとDip(以上6), CheとBor(以上7), Dre(8), Leip(9), および、Zit郡(12)であった。D層の所有地率最低は07年のZit郡77%で、9割以下の郡はLeip郡87%とBor郡89%(以上82年), および、FlöとLöb郡(以上89%), Che郡88%, Dre, Fre, GlaとMarの4郡(以上87%), Dip郡86%, Bor郡82%, Leip郡78%, および、Zit郡77%(以上07年), 計11郡であった。L県4郡とZ県6郡を含む15郡で、D層の同比率は両年ともに9割以上であり、最高は82年のOel郡98%であった。

E層の所有地率はDip, Gron, Roc, AnnとOelの5郡で同率であったが、21郡で低下した。低下率が大きい郡はChe(4), Zit(5)とLeip(6)郡であった。E層で所有地率最低は07年のLeip郡84%で、9割以下の郡は他に07年のZit郡88%のみであった。E層の同比率は24郡(D県全6郡, Z県全10郡, L県5郡とB県3郡)で両年ともに9割以上で、比率最高はPla郡とKam郡(以上82年), および、07年のDöb郡, の99%であった。

F層の所有地率はDip, Oel, PlaとSchwの4郡で上昇し、Mei, Döb, Gri, GlaとKamの5郡で同率であったが、17郡で低下した。上昇率が大きい郡はOelとSchw郡(以上6)で、低下率が大きい郡はDre(10), Leip(11)とAue郡(33)であった。F層の所有地率最低は07年のAue郡61%⁽⁴¹⁾で、9割以下の郡は82年のZwi郡88%, および、Zwi郡86%, Leip郡81%とAue郡61%(以上07年), 計3郡であった。F層の同比率は23郡(D県全6郡, B県全4郡, L県5郡とZ県8郡)で両年ともに9割以上で、同比率最高はGronとOscの2郡(以上82年), および、07年のOel郡, の99%であった。

G層の所有地率はDip, Dre, Gron, Bor, Gri, Flö, Gla, Mar, PlaとKamの10郡で上昇した。上昇率が大きい郡はKam(10), BorとMar(以上11), Dip(22), および、Gla郡(29)であった。同比率は16郡で低下した。低下率が大きい郡はFre(6), Pir, LeipとAue(以上11), Che(13), Löb(14), Zwi(23), および、Ann郡(59pt. 同郡の比率は59%から07年に0%となった)であった。G層の所有地率最低は07年のAnn郡0%で、同比率が7割以下の郡はKam郡68%, Mar郡64%, Bor郡63%, Gla郡61%とAnn郡59%(以上82年)の5郡, および、Zit郡70%, Aue郡63%, Zwi郡53%とAnn郡0%(以上07年)の4郡, 計8郡であった。同比率の最高はSchw郡(82年に100%, 07年に99%)で、同比率が9割以上の郡はOscとOel(以上90), Pir(92), Fre, MeiとChe(以上93)およびSchw(100)の7郡(以上82年), さらに、MeiとGla(以上90), Flö(91), Dip(95)とSchw(99)の5郡(以上07年), 計10郡(Z県6郡を含む)であった。8郡(L県4郡を含む)

のG層の同比率は両年ともに71-89%であった。

H層の所有地率はDip, Fre, Gron, Mei, Pir, Gri, AnnとAueの8郡で上昇した。上昇率はMei (10), Gri (16), Aue (17), Pir (26), Ann (35)とDip郡 (38)で大きかった。同比率は18郡で低下した。低下率はBorとOel (以上11), Che, Mar, Pla, ZwiとKam (以上12), OscとZit (以上13), Leip (16), Flö (21), Gla (39), および, Schw郡 (100pt. -82年に存在したH層が, ゼロとなった)で大きかった。H層の所有地率最高は82年のSchw郡と07年のAnn郡の100%で, 9割以上の郡は82年のGla郡86%, Oel郡91%とSchw郡100%, および, 07年のDip郡97%とAnn郡の100%, 計5郡であった。H層で同比率最低は07年のSchw郡0%で, 同比率が5割以下の郡はGri郡50%, Dre郡49%, Pir郡37%とMei郡30% (以上82年)の4郡, および, DreとGlaの2郡 (以上47%), Osc郡43%, Bor郡42%, Mei郡40%, Leip郡38%とSchw郡0% (以上07年)の7郡, 計9郡であった。B県全4郡を含む12郡のH層の比率は, 両年ともに14-49%であった。

このように, D層, 特にE層とF層では所有地比率が極めて高く, それと比較して, A, B, CとGの4階層の所有地比率はやや低く, 特にH層は低かった。

所有地面積郡計が経営総面積王国計に占める比率 (千分率表示) の変化は, Zit郡で同率で, Dip, Fre, Pir, Gri, Ann, Aue, Mar, Oel, SchwとKamの10郡で上昇した。その中でFre (0.41pt), Dip (0.47), Ann (0.48), Pir (0.66)とSchw郡 (0.87)の上昇率が大きかった。L県5郡を含む15郡で, 同比率は低下した。その中でDöb (0.40), Bor (0.41), Che (0.45), Osc (0.47), Dre (0.48)とLeip郡 (0.72)で同比率は大きく低下した。

所有地面積郡計が経営総面積王国計に占める比率が最も高い郡は, 07年のPir (52.1%)で, 40%以上の郡は, Kam (40.3), Fre (41.3), Pir (45.5), Mei (45.7), Gri (49.2), Bau (50.1)とGron (50.6)の7郡 (以上82年), および, Kam (40.6), Mei (41.8), Fre (45.4), Gron (47.9), Bau (48.4), Gri (50.3)とPir (52.1)の7郡 (以上07年), であった。07年の7郡は, 比率は異なるけれども, 82年と同じ郡 (D県4郡, L県1郡とB県2郡)であり, 40%以上の7郡 (全郡の27%)の合計比率 (82年に374.8%, 07年に326.5%)は, 経営総面積王国計の約43% (82年), 約38% (07年)を占めていた。総面積王国計に占める比率が最も低い郡は, 82年のSchw郡 (15.8%)で, 30%以下の郡は, Schw (15.8), Mar (19.5), Ann (19.6), Aue (19.8), Gla (22.0), Flö (24.6), Zit (25.4), Leip (28.0)とOel (29.1)の9郡 (以上82年), および, Leip (20.8), Aue (20.9), Gla (21.7), Mar (23.3), Flö (23.8), Schw (24.5), Ann (24.8), Zit (25.4), Dre (27.8), Osc (28.7)とChe郡 (29.0)の11郡 (以上07年), 計12郡で, 比率が30%以下の郡の数は2増加した。Dre, OscとCheの3郡が30%以下となり, Oel郡が30%以上となったからである。Z県の30%以下の郡は82年の6郡+Oel郡から07年に, 82年と同じ6郡+Che郡となった。30%以下の9郡 (82年, 全郡の35%)と11郡 (07年, 全郡の42%, 両年ともにZ県の7郡を含む)の合計比率は, 82年に203.8%, 07年に270.7%であった。これら9郡 (全郡の35%)あるいは11郡 (全郡の42%)は, 総面積王国計の23% (82年), 31% (07年)を占めたに過ぎない。残る8郡の所有地面積は総面積王国計の31% (07年) - 34% (82年)を占めていた。

各階層の所有地が総面積王国計に占める比率は, A層でDre, Döb, Osc, FlöとPlaの5郡で同率で, LeipとAueの2郡で低下した。低下率は小さく, 両郡ともに0.01ptであった。B県全4郡, D県5郡とZ県7郡を含む19郡で, 同比率は上昇した。上昇率はZwi (0.15), Ann (0.17), DipとKam (以上0.18), Pir (0.25), Fre (0.30)およびZit郡 (0.32)で大きかった。

B層の同比率はBor, LeipとRocの3郡で同率で, Dip, Pir, Gri, Mar, Schw, BauとKamの7郡で上昇した。上昇率はBau (0.14pt), Mar (0.17)とPir (0.28)郡で大きかった。D県4郡とZ県8郡を含む16郡で, 同比率は低下した。低下率は小さく, 0.05pt以下であった。

C層の同比率はDip郡で同率で、Fre, Mei, Pir, Gri, Osc, Ann, Flö, Mar, Oel, SchwとKamの11郡（B県3郡を含む）で上昇した。上昇率はFre（0.10）、Ann（0.11）、Gri（0.13）とPir郡（0.18）で大きかった。L県4郡とB県3郡を含む14郡で、同比率は低下した。低下率はZwi（0.09）とBau郡（0.13）で大きかった。

D層の同比率はDipとKamの2郡で同率で、Fre, Pir, Ann, Flö, Mar, Bau, LöbとZitの8郡（B県3郡を含む）で上昇した。上昇率はBau（0.11）とFre郡（0.15）で大きかった。L県全6郡とZ県7郡を含む16郡で、同比率は低下した。低下率はDreとLeip（以上0.11）およびBor郡（0.12）で大きかった。

E層の同比率はDip, Fre, Ann, Flö, Mar, OelとSchwの7郡で上昇した。上昇率はAnnとSchw（以上0.10）、Flö（0.12）、Oel（0.20）およびDip郡（0.29）で大きかった。L県全6郡、B県全4郡とD県4郡を含む19郡で、同比率は低下した。低下率はDöb（0.10）、MeiとBor（以上0.12）、Gron（0.13）、GriとChe（以上0.15）、Pir（0.16）およびRoc郡（0.19）で大きかった。

F層の同比率はFreで同率で、Ann, Aue, Mar, Oel, Schw, ZwiとBauの7郡（Z県6郡を含む）で上昇した。上昇率はAueとBau（以上0.11）、Oel（0.21）およびSchw郡（0.55）で大きかった。L県全6郡、D県5郡とB県3郡を含む18郡で、同比率は低下した。低下率はDip（0.13）、OscとFlö（以上0.14）、GriとChe（以上0.17）、GronとZit（以上0.18）、Mei（0.20）、Döb（0.21）、Dre（0.22）およびLeip郡（0.31）で大きかった。

G層の同比率はDipとGronの2郡で同率で、Dre, Bor, Flö, Gla, Oel, PlaとKam郡の7郡で上昇した。上昇率はKam（0.11）、Gla（0.17）とPla（0.23）で大きかった。L県5郡、Z県6郡とB県3郡を含む17郡で、同比率は低下した。低下率はMei郡（0.09）で大きかった。

H層の同比率はDre, RocとAnnの3郡で同率で、Dip, Gron, Pir, GriとAueの5郡で上昇した。上昇率はAue（0.12）、Pir（0.13）とGri郡（0.30）で大きかった。B県全4郡、L県4郡とZ県8郡を含む18郡で、同比率は低下した。低下率はFre（0.10）、Bor（0.13）、Kam（0.14）、Oel（0.15）、OscとLöb（以上0.19）、Leip（0.20）、Bau（0.22）およびPla郡（0.32）で大きかった。

各階層の所有地面積が経営面積王国計に占める比率において、経営総面積王国計の3%を超える郡は、A層でFre, PirとZitの3郡のみ、B層でPirとBauの2郡のみであった（いずれも07年）。C層で同比率が3%を超える郡は、両年のDip, Fre, Gron, Mei, Pir, Oel, Schw, Bau, KamとLöbの10郡（D県5郡とB県3郡を含む）であった。その中で82年のKam（5.1%）とBau（8.2）の2郡、また、07年のOel（5.1）、Fre（5.3）、PirとKam（以上5.7）およびBau（6.9）の5郡は、同比率がかなり高かった。多くの郡のC層、特にA層とB層では、同比率が総面積王国計の3%以下に過ぎなかった。

D層では両年のLeip, FlöとZitの3郡、および、07年のOsc郡で、同比率が3%以下であった。特に07年のLeip郡では同比率が僅か1.4%であった。D層の同比率が5%を超える郡は、両年のOel, Zwi, BauとKamの4郡、および、82年のBor, GriとPlaの3郡、計7郡であった。これら7郡でD層はかなり有力であった。その中でBau（8.0%）、Oel（8.1）とZwi郡（8.7）（以上82年）、および、Zwi（8.5）とBau郡（9.1）（以上07年）で、同比率は特に高かった。D県全6郡とZ県6郡を含む15郡で、D層の同比率は両年ともに総面積王国計の3-5%を占めた。

E層の同比率は82年のZit（4.8%）とSchw（4.9）、および、07年のZit郡（4.4）のみ5%以下であったけれども、これら3郡の同比率は5%に近かった。この比率が15%を超える郡は、82年のGronとRoc（以上15.3）、Kam（15.4）、および、PirとZwi郡（以上16.3）の5郡であった。これらの5郡でE層は有力であった。D県4郡、L県4郡とZ県8郡を含む18郡で、E層は両年ともに経営面積王国計の5-15%を占めていた。

F層の同比率はOelとSchw（以上1.8）、Aue（1.9）、Ann（3.6）およびMar（4.1）の5郡（以上82年、全てZ県）、さらに、Aue（3.0）、Oel（3.9）、Mar（4.4）、Ann（4.5）とDre（5.0）の5郡（以上07年）、計6郡で5%以下であった。F層は、Z県5郡を含む、これらの6郡で、弱体であった。同比率は両年のBor郡（10.9→10.2）、

Dip郡 (11.6→10.3), Osc郡 (11.7→10.3), Pir郡 (12.0→11.6), Fre郡 (12.3→12.3), Döb郡 (14.6→12.5), Gron郡 (16.5→14.7), Gri郡 (17.3→15.6) と Mei郡 (18.4→16.4) の 9 郡, および, 82年のみの Roc (10.5) と Zit (10.8) の 2 郡, 計11郡で, 10%を超えていた。F層は, D県 5 郡とL県 5 郡を含む, これらの11郡で, 有力であった。F層は 9 郡で両年ともに5.1-10%を占めていた。

G層の同比率は両年の Ann (0.1→0), Gla (0.3→2.0), Mar (0.3→0.2), Aue (0.5→0.4), Schw (0.5→0.3), Zwi (0.6→0.5), Roc (0.7→0.5), Che (0.8→0.7), Dre (1.0→1.5), Oel (1.1→1.4), Flö (1.2→1.4), Bor (1.2→1.7), Zit (1.4→1.0) と Löb (1.9→1.4) の14郡, 82年のみの Pla郡 (0.5) と Kam郡 (1.4), および, 07年のみの Pir郡 (1.6), 計17郡で 2%以下であった。Z県全10郡を含む, これらの17郡で, G層は弱体であった。G層の同比率が 3%以上の郡は, 両年の Döb (3.5→3.4) と Mei (6.7→5.8) の 2 郡, および, 82年のみの Leip (3.2) と Osc (3.6) の 2 郡, 計 4 郡であった。G層は, L県 3 郡を含む 4 郡で, 有力であった。G層は 5 郡で両年ともに 2-3%を占めていた。

H層では, 両年の Schw郡 (0.3→0), Ann郡 (0.4→0.4), Mar郡 (1.0→0.3), Gla郡 (1.0→0.4) と Roc郡 (1.0→1.0), および, 07年の Che郡 (0.8) と Flö郡 (1.0), 計 7 郡の同比率が 1%以下であった。これらの 7 郡 (Z県 6 郡とL県 1 郡) で, H層は弱体であった。07年のみ 1%以下であった 2 郡のうち, 82年の同比率は Che郡が1.1, Flö郡が1.8であった。後者の 2 郡を加えた 7 郡の合計比率は, 82年に6.6%, 07年に3.9%であった。7 郡 (王国全26郡の27%)の合計比率は王国のH層比率 (82年に11%, 07年に 9%) の 6% (82年), 4% (07年) に過ぎなかった。H層の同比率は両年の Aue郡 (2.2→3.4), Pir郡 (2.8→4.1), Mei郡 (3.2→2.8), Kam郡 (3.5→2.1), Döb郡 (3.9→3.6), Oel郡 (4.0→2.5), Bor郡 (4.6→3.3), Osc郡 (5.5→3.6), Fre郡 (5.6→4.6), Leip郡 (6.2→4.2), Gron郡 (6.9→7.5), Gri郡 (7.5→10.5), Löb郡 (7.7→5.8), Pla郡 (8.0→4.8) と Bau郡 (10.0→7.8) の15郡, 82年の Zit郡 (2.4), および, 07年の Dip郡 (2.0), 計17郡 (B県全 4 郡, L県 5 郡とD県 5 郡を含む) で 2%以上であった。これら17郡でH層は有力であった。同比率は 1 年のみ 2%以上であった 2 郡, Dip郡で82年に1.6%, Zit郡で07年に1.9%であった。82年の15郡にDip郡を加えた, 16郡の同比率合計は85.6%となる。また, 07年の15郡にZit郡を加えた, 16郡の同比率合計は, 69.9%となる。16郡 (全郡の62%)の合計比率は王国のH層比率 (82年に11%, 07年に 9%) の78% (両年とも) に相当した。

各階層の所有地面積が総面積王国計に占める比率を, ①-③の 3 大階層にまとめると, ②は07年の Leip郡の1.0が最も低く, 3 以下は両年の Bor, Leip, Osc と Flö, 計 4 郡のみであった。これら 4 郡では, 総面積王国計に占める②の比率が低かった。②の最高比率は07年Pir郡の13.6で, 7 以上は82年の Löb (7.2), Kam (7.4) と Bau (11.2) の 3 郡, および, 07年の Fre (9.5), Mar (7.2), Oel (7.3), Kam (9.9), Bau (11.5) と Pir (13.6) の 6 郡, 計 7 郡であった。B県 3 郡を含む, これらの 7 郡では, ②がかなり有力であった。D県 4 郡とZ県 7 郡を含む15郡では, 両年ともに②が 3-7 であった。③は82年の Schw郡 (10.4) が最も低く, 20以下の郡は82年の Schw (10.4), Aue と Kam (以上12.7), Mar (14.6), Ann (15.5), Bau (15.6), Leip (17.2), Oel (17.4), Gla (17.6) と Flö (19.1) の10郡, および, 07年の Leip (12.9), Aue と Kam (以上13.3), Mar (15.6), Gla (16.1), Schw (16.7), Bau と Ann (以上18.2), Osc と Flö (以上19.2) および Dre (19.7) の11郡, 計13郡であった。Z県 7 郡を含む13郡では, 総面積王国計に占める③の比率が低かった。③は82年の Gron郡 (36.7) が最も高く, ③が30以上の郡は, 82年の Mei と Roc (以上30.1), Zwi (30.4), Pir (34.1) と Gri (35.5) および Gron の 6 郡, 07年の Gri (31.7), Pir (32.8) と Gron (33.4) の 3 郡, 計 6 郡であった。これらの 6 郡 (D県 3 郡, L県 2 郡とZ県 1 郡) では, ③が有力であった。残る 7 郡は両年ともに③が20-30であった。①は07年の Ann郡 (0.4) が最も低く, ①が 3 以下の郡は両年の Ann (0.5→0.4), Schw (0.8→1.3), Gla (1.3→2.4), Mar (1.3→0.5), Roc (1.7→1.5), Che (1.9→1.5), Zwi (2.5→1.8) と Flö (3.0→2.4) の 8 郡, 82年の Dip, Dre と Aue (以上2.7) の 3 郡, および, 07年の Zit郡 (2.9), 計12郡であった。Z県 8 郡を含む,

これら12郡では、総面積王国計に占める①の比率が低かった。①が8以上の郡は、両年のGron (9.1→9.7), Mei (9.9→8.6), Gri (10.1→12.8) とBau (12.7→10.0) の4郡、および、82年のみのFre (8.0), Pla (8.5), Osc (9.1), Leip (9.4) とLöb (9.6) の5郡、計9郡であった。これら9郡(D県3郡, L県3郡, Z県1郡とB県2郡)では、①が有力であった。残る5郡では、①が両年ともに3-8であった。

③に対する②と①の比率の変化のうち、②はDöbで同率で、Dre, Leip, Aue, Flö, Oel, BauとLöbの7郡で低下した。低下率はAue(6)郡で最も大きく、他の6郡は2以下であった。D県5郡, L県4郡とZ県7郡を含む18郡では、②の比率が上昇した。18郡の中では、FreとAnn(以上11), Kam(12), Zit(18), Mar(21), Pir郡(22)で上昇率が大きかった。

③に対する①の比率の変化は、Rocで同率で、Dip, Dre, Gron, Mei, Pir, Döb, Gri, Aue, Gla, Pla, SchwとKamの12郡(D県5郡を含む)で上昇した。上昇率はAueとGla(以上8), MeiとSchw(以上10), および、Gri郡(12)で大きかった。同比率は13郡(Z県6郡とB県3郡を含む)で低下した。低下率はOsc(8), Oel(10), BauとLöb郡(以上12)で大きかった。

③に対する②の比率は、両年のL県全6郡, 両年のGron(13→14), Che(15→19), Flö(12→11), Pla(14→15)の4郡、および、82年のDipとZwi(以上15)の2郡、計12郡で20以下であった。L県全6郡を含む、これら12郡で②は③に対して弱体であった。両年のLeip郡と82年のGri郡は9以下で、特に低かった。同比率は、両年のOel(37→35), Löb(39→37), Bau(43→42)とSchw(44→45)の4郡、および、07年のKam(38), Zit(39), Pir(41)とMar(46)の4郡、計8郡で30以上であった。B県全4郡を含む、これら8郡で②は③に対して有力であった。同比率は両年のSchwとBauの2郡、および、07年のPirとMarの2郡、計4郡で40以上で、特に高かった。

③に対する①の比率は、両年のAnn(3→2), Roc(6→6), Che(7→6), Gla(7→15), Zwi(8→6), Mar(9→3)とDip(10→11)の7郡、および、82年のSchw(8), Dre(11)とPir(15)の3郡、さらに、07年のFlö(13), 計11郡で低く、15以下であった。Z県7郡を含む、これら11郡で、①は③に対して弱体であった。同比率は両年のAnn, Roc, Che, Gla, ZwiとMarの6郡。および、82年のSchw郡, 計7郡で特に低かった。同比率は、両年のAue(21→29), Mei(22→32), Bor(22→21), Gron(25→29), Döb(27→29), Gri(28→40), Fre(29→23), Osc(42→34), Bau(49→37), Löb(52→40)とLeip(55→52)の11郡、および、82年のZit(21), Oel(29)とPla(33)の3郡、さらに、07年のPla郡(34), 計15郡で高く、20以上であった。L県5郡とB県3郡を含む、これら15郡では、③に対して①が有力であった。

第28-2表 階層別所有地面積 (26郡, 1882-1907年)

	A	B	C	D	E	F
Dip-82	507 (1.2) 〈 70〉 [0.4]	863 (2) 〈 75〉 [0.7]	3,578 (9) 〈 81〉 [3.0]	5,819 (14) 〈 92〉 [4.9]	13,707 (33) 〈 96〉 [11.6]	13,790 (33) 〈 97〉 [11.6]
Dip-07	2,873 (6) 〈 91〉 [2.2]	1,997 (4) 〈 87〉 [1.6]	3,905 (8) 〈 76〉 [3.0]	6,323 (12) 〈 86〉 [4.9]	18,658 (37) 〈 96〉 [14.5]	13,242 (26) 〈 98〉 [10.3]
Dre-82	1,539 (4) 〈 79〉 [1.3]	1,685 (4) 〈 84〉 [1.4]	3,920 (10) 〈 91〉 [3.3]	5,852 (15) 〈 95〉 [4.9]	13,705 (35) 〈 97〉 [11.6]	8,515 (22) 〈 93〉 [7.2]
Dre-07	1,698 (5) 〈 78〉 [1.3]	1,222 (3) 〈 75〉 [0.9]	3,391 (9) 〈 82〉 [2.6]	4,864 (14) 〈 78〉 [3.8]	14,053 (39) 〈 94〉 [10.9]	6,430 (18) 〈 83〉 [5.0]
Fre-82	762 (2) 〈 57〉 [0.6]	1,166 (2) 〈 70〉 [1.0]	5,046 (10) 〈 81〉 [4.3]	5,828 (12) 〈 90〉 [4.9]	12,129 (25) 〈 97〉 [10.2]	14,609 (30) 〈 99〉 [12.3]
Fre-07	4,696 (8) 〈 91〉 [3.6]	749 (1.3) 〈 66〉 [0.6]	6,876 (12) 〈 81〉 [5.3]	8,208 (14) 〈 87〉 [6.4]	13,365 (23) 〈 96〉 [10.4]	15,860 (27) 〈 96〉 [12.3]
Gron-82	733 (1.2) 〈 71〉 [0.6]	913 (2) 〈 81〉 [0.8]	3,881 (6) 〈 89〉 [3.3]	5,814 (10) 〈 94〉 [4.9]	18,138 (30) 〈 98〉 [15.3]	19,584 (33) 〈 99〉 [16.5]
Gron-07	1,289 (2) 〈 72〉 [1.0]	768 (1.2) 〈 78〉 [0.6]	4,163 (7) 〈 85〉 [3.2]	5,992 (10) 〈 92〉 [4.7]	18,014 (29) 〈 98〉 [14.0]	18,885 (31) 〈 98〉 [14.7]
Mei-82	1,204 (2) 〈 68〉 [1.0]	1,258 (2) 〈 86〉 [1.1]	4,159 (8) 〈 92〉 [3.5]	4,385 (8) 〈 94〉 [3.7]	9,509 (18) 〈 97〉 [8.0]	21,804 (40) 〈 98〉 [18.4]
Mei-07	1,750 (3) 〈 77〉 [1.4]	1,286 (2) 〈 84〉 [1.0]	5,277 (10) 〈 91〉 [4.1]	4,492 (8) 〈 91〉 [3.5]	8,751 (16) 〈 96〉 [6.8]	21,129 (39) 〈 98〉 [16.4]
Pir-82	1,375 (3) 〈 72〉 [1.2]	1,694 (3) 〈 84〉 [1.4]	4,613 (9) 〈 87〉 [3.9]	6,923 (13) 〈 96〉 [5.8]	19,260 (36) 〈 97〉 [16.3]	14,183 (26) 〈 98〉 [12.0]
Pir-07	4,785 (7) 〈 91〉 [3.7]	5,399 (8) 〈 93〉 [4.2]	7,293 (11) 〈 87〉 [5.7]	8,338 (12) 〈 93〉 [6.5]	18,865 (28) 〈 95〉 [14.7]	14,909 (22) 〈 94〉 [11.6]
Bor-82	593 (1.4) 〈 51〉 [0.5]	603 (2) 〈 67〉 [0.5]	2,255 (5) 〈 76〉 [1.9]	5,881 (14) 〈 89〉 [5.0]	12,482 (30) 〈 95〉 [10.5]	12,890 (31) 〈 98〉 [10.9]
Bor-07	948 (2) 〈 956〉 [0.7]	613 (2) 〈 68〉 [0.5]	2,125 (5) 〈 76〉 [1.7]	4,883 (12) 〈 82〉 [3.8]	11,951 (30) 〈 92〉 [9.3]	13,097 (33) 〈 94〉 [10.2]
Döb-82	982 (2) 〈 60〉 [0.8]	1,036 (2) 〈 85〉 [0.9]	3,448 (7) 〈 92〉 [2.9]	4,702 (10) 〈 94〉 [4.0]	10,892 (23) 〈 99〉 [9.2]	17,305 (37) 〈 98〉 [14.6]
Döb-07	1,004 (2) 〈 66〉 [0.8]	806 (2) 〈 81〉 [0.6]	3,538 (8) 〈 90〉 [2.7]	4,932 (11) 〈 93〉 [3.8]	10,594 (23) 〈 96〉 [8.2]	16,087 (35) 〈 98〉 [12.5]
Gri-82	1,045 (2) 〈 62〉 [0.9]	782 (1.3) 〈 76〉 [0.7]	2,438 (4) 〈 84〉 [2.1]	6,176 (11) 〈 95〉 [5.2]	15,363 (26) 〈 97〉 [13.0]	20,520 (35) 〈 96〉 [17.3]
Gri-07	1,761 (3) 〈 71〉 [1.4]	1,298 (2) 〈 82〉 [1.0]	4,436 (7) 〈 89〉 [3.4]	5,863 (9) 〈 90〉 [4.6]	14,789 (23) 〈 95〉 [11.5]	20,083 (31) 〈 96〉 [15.6]
Leip-82	490 (2) 〈 61〉 [0.4]	347 (1.0) 〈 70〉 [0.3]	972 (3) 〈 74〉 [0.8]	2,932 (9) 〈 87〉 [2.5]	6,377 (19) 〈 90〉 [5.4]	11,009 (33) 〈 92〉 [9.3]
Leip-07	448 (2) 〈 58〉 [0.3]	402 (2) 〈 68〉 [0.3]	525 (2) 〈 63〉 [0.4]	1,818 (7) 〈 78〉 [1.4]	6,758 (25) 〈 84〉 [5.3]	8,037 (30) 〈 81〉 [6.2]
Osc-82	745 (2) 〈 58〉 [0.6]	496 (1.3) 〈 79〉 [0.4]	1,728 (4) 〈 86〉 [1.5]	3,643 (9) 〈 92〉 [3.1]	8,298 (21) 〈 96〉 [7.0]	13,830 (35) 〈 99〉 [11.7]
Osc-07	808 (2) 〈 63〉 [0.6]	422 (1.1) 〈 77〉 [0.3]	2,283 (6) 〈 88〉 [1.8]	3,261 (9) 〈 90〉 [2.5]	8,288 (22) 〈 95〉 [6.4]	13,310 (36) 〈 97〉 [10.3]
Roc-82	754 (1.2) 〈 69〉 [0.6]	940 (2) 〈 81〉 [0.8]	2,937 (7) 〈 87〉 [2.5]	5,143 (12) 〈 94〉 [4.3]	18,081 (43) 〈 97〉 [15.3]	12,485 (29) 〈 98〉 [10.5]
Roc-07	2,061 (5) 〈 87〉 [1.6]	980 (2) 〈 84〉 [0.8]	2,596 (6) 〈 83〉 [2.0]	5,111 (12) 〈 92〉 [4.0]	17,207 (41) 〈 97〉 [13.4]	12,558 (30) 〈 97〉 [9.8]
Ann-82	495 (2) 〈 80〉 [0.4]	838 (4) 〈 81〉 [0.7]	2,971 (13) 〈 90〉 [2.5]	4,592 (20) 〈 95〉 [3.9]	9,497 (41) 〈 98〉 [8.0]	4,251 (18) 〈 97〉 [3.6]
Ann-07	2,762 (9) 〈 96〉 [2.1]	574 (7) 〈 75〉 (0.4)	4,591 (14) 〈 91〉 [3.6]	6,106 (19) 〈 94〉 [4.7]	11,529 (36) 〈 98〉 [9.0]	5,809 (18) 〈 98〉 [4.5]
Aue-82	884 (4) 〈 83〉 [0.7]	1,090 (5) 〈 92〉 [0.9]	3,247 (14) 〈 93〉 [2.7]	5,301 (23) 〈 97〉 [4.5]	7,481 (32) 〈 98〉 [6.3]	2,236 (10) 〈 94〉 [1.9]
Aue-07	769 (3) 〈 80〉 [0.6]	1,087 (4) 〈 88〉 [0.8]	3,011 (11) 〈 90〉 [2.3]	5,555 (21) 〈 95〉 [4.3]	7,778 (29) 〈 96〉 [6.0]	3,803 (14) 〈 61〉 [3.0]
Che-82	802 (2) 〈 74〉 [0.7]	909 (2) 〈 81〉 [0.8]	3,025 (8) 〈 87〉 [2.6]	5,438 (14) 〈 95〉 [4.6]	16,303 (41) 〈 98〉 [13.8]	10,868 (27) 〈 95〉 [9.2]

G	H	計	②	③	①	②	③	①	計	対③比率	
										②	①
1,290 (3) 〈 73〉 [1.1]	1,839 (4) 〈 59〉 [1.6]	41,393 (100) 〈 90〉 [34.9]	12.2	80	7	4.1	28.1	2.7	34.9	15	10
1,384 (3) 〈 95〉 [1.1]	2,594 (5) 〈 97〉 [2.0]	50,976 (100) 〈 92〉 [39.6]	18	75	8	6.8	29.7	3.1	39.5	23	11
1,505 (4) 〈 71〉 [1.0]	1,976 (5) 〈 49〉 [1.7]	38,612 (100) 〈 88〉 [32.6]	18	72	9	6.0	23.7	2.7	32.6	25	11
1,960 (6) 〈 73〉 [1.5]	2,153 (6) 〈 47〉 [1.7]	35,762 (100) 〈 82〉 [27.8]	17	71	12	4.8	19.7	3.2	27.8	24	16
2,808 (6) 〈 93〉 [2.4]	6,688 (14) 〈 78〉 [5.6]	49,035 (100) 〈 90〉 [41.3]	14	67	20	5.9	27.4	8.0	41.3	22	29
2,680 (5) 〈 87〉 [2.1]	5,939 (10) 〈 86〉 [4.6]	58,373 (100) 〈 90〉 [45.4]	21.3	64	15	9.5	29.1	6.7	45.4	33	23
2,699 (5) 〈 88〉 [2.2]	8,186 (14) 〈 61〉 [6.9]	59,959 (100) 〈 89〉 [50.6]	9.2	73	19	4.7	36.7	9.1	50.6	13	25
2,838 (5) 〈 89〉 [2.2]	9,638 (16) 〈 68〉 [7.5]	61,587 (100) 〈 89〉 [47.9]	10.2	70	21	4.8	33.4	9.7	47.9	14	29
7,994 (15) 〈 93〉 [6.7]	3,846 (7) 〈 30〉 [3.2]	54,159 (100) 〈 87〉 [45.7]	12	66	22	5.6	30.1	9.9	45.7	19	22
7,516 (14) 〈 90〉 [5.8]	3,546 (7) 〈 40〉 [2.8]	53,747 (100) 〈 86〉 [41.8]	15	63	21	6.5	26.7	8.6	41.8	24	32
2,560 (5) 〈 92〉 [2.2]	3,306 (6) 〈 37〉 [2.8]	53,914 (100) 〈 87〉 [45.5]	15	75	11	6.5	34.1	5.0	45.5	19	15
2,029 (3) 〈 81〉 [1.6]	5,315 (8) 〈 63〉 [4.1]	66,973 (100) 〈 89〉 [52.1]	26	62	11	13.6	32.8	5.7	52.2	41	17
1,396 (3) 〈 63〉 [1.2]	5,481 (13) 〈 53〉 [4.6]	41,581 (100) 〈 82〉 [35.1]	8.4	75	16	2.9	26.4	5.8	35.1	11	22
2,126 (5) 〈 74〉 [1.7]	4,185 (10) 〈 42〉 [3.3]	39,928 (100) 〈 78〉 [31.0]	9	75	15	2.9	25.3	5.0	31.0	12	21
4,100 (9) 〈 84〉 [3.5]	4,619 (10) 〈 63〉 [3.9]	47,083 (100) 〈 90〉 [39.7]	11	70	19	4.6	27.8	7.4	39.7	17	27
4,341 (10) 〈 82〉 [3.4]	4,632 (10) 〈 61〉 [3.6]	45,934 (100) 〈 88〉 [35.7]	12	69	20	4.1	24.5	7.0	35.7	17	29
3,101 (5) 〈 74〉 [2.6]	8,911 (15) 〈 50〉 [7.5]	58,336 (100) 〈 82〉 [49.2]	7.3	72	20	3.2	35.5	10.1	49.2	9	28
2,952 (5) 〈 80〉 [2.3]	13,488 (21) 〈 66〉 [10.5]	64,670 (100) 〈 85〉 [50.3]	12	63	26	5.8	31.7	12.8	50.3	18	40
3,778 (11) 〈 82〉 [3.2]	7,310 (22) 〈 54〉 [6.2]	33,215 (100) 〈 77〉 [28.0]	6	61	33	1.5	17.2	9.4	28.0	9	55
3,261 (12) 〈 71〉 [2.5]	5,415 (20) 〈 38〉 [4.2]	26,764 (100) 〈 65〉 [20.8]	6	62	32	1.0	12.9	6.7	20.8	8	52
4,294 (11) 〈 90〉 [3.6]	6,528 (17) 〈 56〉 [5.5]	39,562 (100) 〈 84〉 [33.4]	7.3	65	28	2.5	21.8	9.1	33.4	11	42
3,921 (11) 〈 88〉 [3.0]	4,589 (12) 〈 43〉 [3.6]	36,902 (100) 〈 81〉 [28.7]	9.1	67	23	2.5	19.2	6.6	28.7	13	34
879 (2) 〈 75〉 [0.7]	1,185 (3) 〈 59〉 [1.0]	42,401 (100) 〈 93〉 [35.8]	10.8	84	4.9	3.9	30.1	1.7	35.8	13	6
672 (2) 〈 74〉 [0.5]	1,227 (3) 〈 54〉 [1.0]	42,412 (100) 〈 92〉 [33.0]	13	83	5	4.4	27.2	1.5	33.0	16	6
152 (0.7) 〈 59〉 [0.1]	457 (2) 〈 65〉 [0.4]	23,257 (100) 〈 94〉 [19.6]	19	79	2.7	3.6	15.5	0.5	19.6	23	3
0 (-) 〈 -〉 [-]	482 (2) 〈100〉 [0.4]	31,853 (100) 〈 95〉 [24.8]	25	73	2	6.1	18.2	0.4	24.8	34	2
622 (3) 〈 74〉 [0.5]	2,576 (11) 〈 80〉 [2.2]	23,432 (100) 〈 93〉 [19.8]	23	65	14	4.3	12.7	2.7	19.8	34	21
554 (2) 〈 61〉 [0.4]	4,393 (16) 〈 63〉 [3.4]	26,950 (100) 〈 97〉 [20.9]	18	64	18	3.7	13.3	3.8	20.9	28	29
997 (3) 〈 93〉 [0.8]	1,356 (3) 〈 70〉 [1.1]	39,667 (100) 〈 93〉 [33.5]	12	82	6	4.1	27.6	1.9	33.5	15	7

Che-07	2,515 (7) 〈 92〉 [2.0]	691 (2) 〈 81〉 [0.5]	2,518 (7) 〈 82〉 [2.0]	5,532 (14) 〈 88〉 [4.3]	15,793 (41) 〈 94〉 [12.3]	9,641 (25) 〈 93〉 [7.5]
Flö-82	526 (2) 〈 74〉 [0.4]	511 (2) 〈 74〉 [0.4]	1,807 (5) 〈 85〉 [1.5]	3,142 (11) 〈 92〉 [2.7]	9,485 (32) 〈 98〉 [8.0]	9,911 (34) 〈 98〉 [8.4]
Flö-07	537 (2) 〈 75〉 [0.4]	339 (1.1) 〈 70〉 [0.3]	1,995 (7) 〈 83〉 [1.6]	3,827 (13) 〈 89〉 [3.0]	11,881 (39) 〈 96〉 [9.2]	8,988 (29) 〈 97〉 [7.0]
Gla-82	679 (3) 〈 58〉 [0.6]	645 (2) 〈 71〉 [0.5]	2,493 (10) 〈 81〉 [2.1]	3,927 (15) 〈 93〉 [3.3]	10,305 (39) 〈 97〉 [8.7]	6,631 (25) 〈 98〉 [5.6]
Gla-07	1,467 (5) 〈 82〉 [1.1]	449 (2) 〈 70〉 [0.3]	2,168 (8) 〈 78〉 [1.7]	4,035 (14) 〈 87〉 [3.1]	10,316 (37) 〈 95〉 [8.0]	6,385 (23) 〈 98〉 [5.0]
Mar-82	470 (2) 〈 74〉 [0.4]	842 (4) 〈 80〉 [0.7]	2,986 (13) 〈 86〉 [2.5]	3,630 (16) 〈 92〉 [3.1]	8,814 (38) 〈 98〉 [7.4]	4,885 (21) 〈 98〉 [4.1]
Mar-07	2,250 (8) 〈 91〉 [1.7]	3,145 (11) 〈 93〉 [2.4]	3,933 (13) 〈 82〉 [3.1]	4,256 (14) 〈 87〉 [3.3]	10,121 (34) 〈 97〉 [7.9]	5,633 (19) 〈 95〉 [4.4]
Oel-82	807 (2) 〈 82〉 [0.7]	1,237 (4) 〈 90〉 [1.0]	5,644 (16) 〈 95〉 [4.8]	9,617 (28) 〈 98〉 [8.1]	8,930 (26) 〈 98〉 [7.5]	2,181 (6) 〈 93〉 [1.8]
Oel-07	1,981 (5) 〈 90〉 [1.5]	935 (2) 〈 85〉 [0.7]	6,510 (16) 〈 93〉 [5.1]	9,226 (23) 〈 95〉 [7.2]	12,219 (30) 〈 98〉 [9.5]	5,006 (12) 〈 99〉 [3.9]
Pla-82	683 (2) 〈 69〉 [0.6]	729 (2) 〈 85〉 [0.6]	2,806 (6) 〈 89〉 [2.4]	6,417 (14) 〈 96〉 [5.4]	16,779 (38) 〈 99〉 [14.2]	6,919 (16) 〈 96〉 [5.8]
Pla-07	785 (2) 〈 79〉 [0.6]	650 (2) 〈 79〉 [0.5]	2,958 (7) 〈 86〉 [2.3]	6,282 (15) 〈 91〉 [4.9]	15,724 (36) 〈 98〉 [12.2]	7,079 (16) 〈 97〉 [5.5]
Schw-82	764 (4) 〈 76〉 [0.6]	1,162 (6) 〈 84〉 [1.0]	3,621 (19) 〈 89〉 [3.1]	4,212 (23) 〈 93〉 [3.7]	5,787 (31) 〈 97〉 [4.9]	2,178 (12) 〈 92〉 [1.8]
Schw-07	2,253 (7) 〈 91〉 [1.8]	2,214 (7) 〈 91〉 [1.7]	5,197 (17) 〈 89〉 [4.0]	4,478 (14) 〈 90〉 [3.5]	7,602 (24) 〈 95〉 [5.9]	9,330 (30) 〈 98〉 [7.3]
Zwi-82	761 (2) 〈 65〉 [0.6]	783 (2) 〈 71〉 [0.7]	3,928 (9) 〈 85〉 [3.3]	10,319 (23) 〈 95〉 [8.7]	19,264 (43) 〈 97〉 [16.3]	6,397 (14) 〈 88〉 [5.4]
Zwi-07	2,667 (6) 〈 88〉 [2.1]	612 (1.3) 〈 73〉 [0.5]	3,097 (7) 〈 80〉 [2.4]	10,978 (24) 〈 93〉 [8.5]	19,270 (42) 〈 96〉 [15.0]	7,023 (15) 〈 86〉 [5.5]
Bau-82	1,254 (2) 〈 53〉 [1.1]	2,201 (4) 〈 75〉 [1.9]	9,713 (16) 〈 88〉 [8.2]	9,877 (17) 〈 94〉 [8.0]	11,848 (20) 〈 96〉 [10.0]	9,304 (16) 〈 96〉 [7.9]
Bau-07	1,666 (3) 〈 59〉 [1.3]	4,202 (7) 〈 88〉 [3.3]	8,820 (14) 〈 85〉 [6.9]	11,728 (19) 〈 92〉 [9.1]	11,600 (19) 〈 94〉 [9.0]	11,396 (18) 〈 93〉 [9.0]
Kam-82	953 (2) 〈 61〉 [0.8]	1,769 (4) 〈 79〉 [1.5]	6,026 (12) 〈 89〉 [5.1]	7,678 (16) 〈 97〉 [6.5]	18,202 (37) 〈 99〉 [15.4]	7,296 (15) 〈 97〉 [6.2]
Kam-07	3,391 (7) 〈 78〉 [2.6]	2,031 (4) 〈 82〉 [1.6]	7,282 (14) 〈 88〉 [5.7]	8,370 (16) 〈 95〉 [6.5]	17,275 (33) 〈 98〉 [13.4]	7,816 (15) 〈 97〉 [6.1]
Löb-82	1,445 (3) 〈 62〉 [1.2]	1,758 (4) 〈 77〉 [1.5]	5,340 (13) 〈 87〉 [4.5]	4,550 (11) 〈 92〉 [3.8]	8,254 (20) 〈 95〉 [7.0]	9,095 (22) 〈 95〉 [7.7]
Löb-07	2,117 (5) 〈 75〉 [1.6]	1,716 (4) 〈 82〉 [1.3]	4,863 (12) 〈 83〉 [3.8]	5,435 (13) 〈 89〉 [4.2]	7,980 (19) 〈 93〉 [6.2]	9,720 (24) 〈 93〉 [7.6]
Zit-82	1,025 (3) 〈 77〉 [0.9]	824 (3) 〈 82〉 [0.7]	2,588 (9) 〈 83〉 [2.2]	2,667 (9) 〈 89〉 [2.3]	5,679 (19) 〈 93〉 [4.8]	12,764 (42) 〈 93〉 [10.8]
Zit-07	5,279 (16) 〈 95〉 [4.1]	564 (2) 〈 67〉 [0.4]	2,299 (7) 〈 71〉 [1.8]	3,483 (11) 〈 77〉 [2.7]	5,711 (17) 〈 88〉 [4.4]	11,584 (35) 〈 91〉 [9.0]

注

(注38) Böhmert 1882, S. 146-215; Sieber 1897, S. 200; Würzburger 1910, S. 212-216; Berufszählung 1907(5), S. 2-17から作成。

(注39) 経営総面積は、保有形態から見て、07年に(1)所有地、(2)借入地と(3)「その他」の土地から構成されており、(3)の面積は、王国で5,837ha(Berufszählung 1905(5), S. 2; Würzburger 1910, S. 212)であった。(3)は、具体的には現物雇農の土地(Deputatland)、[教会牧師、学校教師などの]職務地(Dienstland)などであり(Würzburger 1910, S. 211)、総面積の0.45%を占めた。95年には、(1)所有地(87.3%)と(2)借入地(12.4%)以外の(3)「現物雇農の土地、職務地など」(07年と同じく(3)「その他」の土地と記す)は3,756ha(Sieber 1897, S. 199)で、総面積の0.31%を占めた。このように、(3)の土地の比率は、王国で95年にも07年にも極めて低かった。殆ど全ての郡でも、両年にそうであった。Sieber 1897(S. 200)は王国の95年の総面積、所有地面積と借入地面積を表示し、82年に対するこれら3種面積の増減を付記している。それに基づくと、82年の総面積は、所有地面積と借入地面積の合計に等しい。この総面積と借入地面積は、Böhmert 1882(S. 214)に公表された、82年の所有地面積および借入地面積と

であったが、A層は半減した。」

(注41) 07年のAue郡F層の所有地率が異様に低いのは、同郡の上記、「その他」の土地2,239haの大部分、2,188ha(98%)がF層に帰属したことによる。なお、同郡F層に帰属する、「その他」の土地(所有地と借入地以外の「現物雇農の土地、職務地など」)は、95年には1haに過ぎなかった。Sieber 1897, S. 179.